

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

本校では、国語、算数どちらも全国の平均正答率を若干下回る結果となりました。教科ごとに見ると、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する項目」全ての領域で全国の平均正答率に近いか若干低い傾向にありました。算数では、「図形」の領域で平均正答率が低い傾向にありましたが、多くの領域で全国の平均正答率に近い傾向にありました。児童質問紙からは、「学習に対する興味・関心」の項目については高い傾向が見られ、「教科学力」の項目についてはやや低い傾向が見られました。

《強み・弱み》

本校では、児童がペアやグループで話し合う等の「学び合い」の取組を推進しているところです。朝読書の習慣が定着し、読書への関心も高まってきています。コロナ禍において制限がある中ですが、これまでの日常的な取組を通して、わからないことを尋ね合ったり、互いの考えを出し合ったりする姿が見られるようになってきています。一方で、無解答率が高い傾向もみられ、問題を最後まで粘り強く読み進めたり、深く読み解いたりする力には、まだまだ弱さが見られます。また、言語についての知識・技能にも課題がみられます。

【国語・算数】

全国平均と比較して良い傾向がある問題

| | 問題番号 | 問題の概要 | 問題の趣旨 |
|----|--------|--|--|
| 国語 | 3三(1)ウ | 丸山さんの【文章の下書き】の中の_____部ウを漢字を、使って書き直す(つみ重ね) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う |
| 算数 | 1(4) | 午後1時35分から50分後の時刻を書く | 条件に合う時刻を求めることができる |
| | 3(5) | 5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ | 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。 |

全国平均と比較して課題が見られる問題

| | 問題番号 | 問題の概要 | 問題の趣旨 |
|----|--------|--|---|
| 国語 | 3三(1)エ | 丸山さんの【文章の下書き】の中の_____部エを漢字を、使って書き直す(げんいん) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う |
| | 3三(2)イ | 丸山さんの【文章の下書き】の中の_____部イで、_____部「残されています」の主語として適切なものを選択する | 文の中における主語と述語との関係を捉える |
| 算数 | 1(1) | 二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く | 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる |
| | 2(1) | 直角三角形の面積を求める式と答えを書く | 直角三角形の面積の求め方について理解している |
| | 3(4) | 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く | 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる |

【質問紙調査】

全国平均と比較して良い傾向がある主な項目

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」
- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」
- 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- 「算数の勉強は大切だと思いますか」



全国平均と比較して課題が見られる主な項目

- 「朝食を毎日食べていますか」
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」
- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」
- 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
- 「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」
- 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか」
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」
- 「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか」
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」

【指導の充実に向けて】

- ・これまでに引き続き、授業の初めに見通しを持って学習に臨めるような「めあて」を提示、授業の終わりには、自分がわかったりできるようになったりしたことや、友達の考えを聞いて自分の考えが変わったことをふり返る活動(「ふり返り」)を推進しています。あきらめることなく課題に向かう児童の育成に向け、ペアやグループで話し合う場面を取り入れ、聴き合う関係づくりの強化を進めるとともに、児童の深い学びにつながる学習環境や授業づくりにも日々取り組んでいきます。また、授業の時間だけでなくパーシクタイムでの基礎の積み上げを図ります。これらの取り組みを通じて本調査で弱さの見られた領域や課題に対する補充等に力を入れていきます。
- ・保護者、地域との連携を図りながら規則正しい生活習慣や、学習の計画等に関する課題について、学校だよりや学習の手引き等を活用しながらさらなる啓発を進めていきます。